

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和2年 12月 10日

事業所名：こころniji

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準のスペースは確保できているが多人数になると十分ではない。	15	3			3 3密に気をつけ、対人距離の保持を徹底している。
	2 職員の適切な配置	指定基準を満たしている。看護師は、小児経験の豊富な職員が揃っている。	19				4 さらに充実した内容のしていくために職員募集をしている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリー構造である。	19	1			2 今の環境を維持していきたい。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清潔、清掃、消毒に注意をはらっている。コロナ感染予防のためか	19	1			2 今の環境を維持していきたい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的にミーティングを行っている。	/				継続して実施していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	できていない。	/				今は、第三者委員会などの機関に評価を委ねていない。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	重心児施設対象の研修や看護技術向上のための研修に積極的に参加し、職員間で情報を共有している。	/				継続して実施していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	できている。	21	1	0	0	継続して実施していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	H30年10月より様式を変更し、個別・集団の視点から作成している。	/				リハビリは個別支援であるが、レクリエーション時の支援は集団活動として目標設定をしている。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	できている。	22				継続して実施していく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿って、当日の体調に合わせた支援をしている。	21				1 始業前にその日の利用者の個別支援目標を読み上げ、関わり上での注意点や、観点を共通理解している。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	個々の状況をチームで共通理解し、プログラムを立案している。	/				継続して実施していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	放課後利用では時間が短いのでできない事を、長期休業期間の利用時にするようにしている。	/				継続して実施していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定化しないようにしている。季節、事象に合ったプログラムを工夫して取り入れている。	17				5 継続して実施していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	始業前ミーティングで確認している。	/				継続して実施していく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日の内に共有し、休みの職員には次回出勤時に伝達できるようにしている。	/				継続して実施していく。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	1か月に1回の評価を行い、記録している。	/				継続して実施していく。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一回、支援計画の更新をしている。	/				継続して実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	/				継続して実施していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/				継続して実施していく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/				継続して実施していく。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	/				継続して実施していく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	/				継続して実施していく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	/				継続して実施していく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	3		4	15	コロナ感染予防の観点から実施していない
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	/				継続して実施していく。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	19	3			継続して実施していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	21	1			継続して実施していく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	12	1	1	8	送迎時などの育児相談などは継続して実施していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	22				継続して実施していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	14	5	1	2	継続して実施していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	15	3	1	4	継続して実施していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	14	1		7	継続して実施していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	21			1	継続して実施していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	21			1	継続して実施していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	21	1			継続して実施していく。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	19		1		継続して実施していく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月に1回防災訓練をし、とっさの時に安全に落ち着いて行動できるようにしている。		19		1	継続して実施していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	研修に行った職員から報告を受けて、全職員へ周知している。		/			継続して実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	クッションチェアやバギー、車椅子、乗車時も胸ひもは安全上必要で、身体拘束にはならないので了解は得ているが、書面には記載していない。		/			継続して実施していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事提供時には家庭から弁当を持参してもらう。アレルギーのない方へは弁当注文も行っている。		/			継続して実施していく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ミーティングで報告し、ファイリングして保管している。事案を掘り下げて原因を探り、同じようなことが起こらないように検討している		/			継続して実施していく。
	満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか		20			満足度は良い評価をいただけて、励みになります。
2		事業所の支援に満足しているか		20				